

★RIM POLYOLEFINS INTELLIGENCE DAILY

★No. 2783 Jan 31 2019

Copyright (C) 2019 Rim Intelligence Co. All rights reserved.

—TOKYO, 18:30 JST Jan 31 2019<Assessment Closing Time>

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

31日のレックス22は、前日から1.29ポイント上昇し93.89です。

◎お知らせ

○『改訂版 やさしい石油精製の本』発刊

リム情報開発は昨年12月3日、エネルギー入門書シリーズ『改訂版 やさしい石油精製の本』を発刊いたしました。昨年8月に発売した初版本が好評につき完売となりましたことから、脱硫方法の1つであるスウィートニング処理の項目を補足で追加し、このほど改訂版として発刊する運びとなりました。石油業界に携わってまだ日の浅い方を念頭に、原油の特性、製油所の各設備の仕組み、原油から石油製品を精製する方法、石油製品の特徴などをわかりやすく解説しています。また、業界でベテランと呼ばれるような人が、「いまさら聞けない」内容をあらためて確認していただく虎の巻としても活用いただけます。

《A4版、1,200円(消費税、送料別)。詳細は以下のURLを御覧ください》

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/petrobook/>

——リムレポートのご紹介——

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/first/report>

ラインアップ:

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG
石油化学	ポリオレフィン	LNG
電力	デیلیーデータ	Rim Data File

上記に関するお問い合わせはこちらまで

TEL 03-3552-2411

E-mail [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)



◎Olefins (\$/MT)			
	CFR N. E. Asia	CFR S. E. Asia	FOB Korea
Ethylene	+ 1,100/1,150 +	+ 1,000/1,050 +	+ 1,080/1,120 +
Propylene	910/ 920	830/ 840	880/ 900
Butadiene	- 1,120/1,150	- 1,070/1,100	- 1,070/1,100

◎China Domestic (Yuan/MT)	
	East China
Propylene	7,850/ 7,900
Propylene (Shandong)*	7,800/ 7,850
Butadiene	10,200/10,300
SBR	11,600/11,700
BR	11,700/11,800

\*Shandong prices refer to ex-tank assessments in the Shandong area.

◎Polymers (\$/MT)				
	CFR China	CFR S. E. Asia	China Domestic*	USD <sup>^</sup>
LDPE (Film)	1,000/1,050	1,020/1,040	8,900/9,100	1,087 +
LLDPE (Film)	1,020/1,040	+ 1,020/1,040	9,000/9,100	1,093 +
HDPE (Film)	1,050/1,100	+ 1,050/1,100 +	9,500/9,700	1,159 +
HDPE (Yarn)	1,050/1,100	+ 1,050/1,100 +	9,650/9,850	1,177 +
PP (Homo) - BOPP	1,090/1,100	1,090/1,100	—	—
PP (Homo) - Yarn/INJ	1,080/1,090	1,070/1,080	9,000/9,050	1,090 +
PP (Block Co) - INJ	1,110/1,120	1,110/1,120	—	—

\*Yuan/MT, <sup>^</sup>USD calculated from China Domestic.

◎PVC and Feedstocks (\$/MT)	
	CFR China
PVC	890/900
Ethylene Dichloride	410/420
Vinylchloride Monomer	725/735

◎Weekly & Monthly Average**				
	21. Jan - 25. Jan	Jan Ave.	21. Jan - 25. Jan	Jan Ave.
Ethylene	976/1,010	+ 937/ 967 +	874/ 906	+ 834/ 863 +
Propylene	936/ 962	+ 941/ 965 +	856/ 882	+ 861/ 885 +
Butadiene	1,162/1,190	- 1,158/1,186 -	1,112/1,140	- 1,108/1,136 -
FOB Korea				
Ethylene	954/ 982	+ 914/ 940 +		
Propylene	900/ 924	+ 906/ 929 +		
Butadiene	1,112/1,140	- 1,104/1,132 -		
China Domestic*				
Propylene	7,850/ 7,930	+ 7,922/ 7,983 -		
Propylene (Shandong)	7,870/ 7,950	+ 7,908/ 7,992 -		
Butadiene	10,020/10,120	+ 10,481/10,581 +		
SBR	11,640/11,740	+ 11,756/11,856 +		
BR	11,710/11,810	+ 11,817/11,950 +		
CFR China				
	21. Jan - 25. Jan	Jan Ave.	CFR S. E. Asia	
			21. Jan - 25. Jan	Jan Ave.
LDPE (Film)	1,000/1,050	+ 1,000/1,050 +	1,016/1,048	- 1,016/1,054 -

LLDPE (Film)	1,020/1,040	+ 1,011/1,031 +	1,014/1,040	+ 1,008/1,036 +
HDPE (Film)	1,050/1,100	- 1,041/1,091 -	1,042/1,092	- 1,040/1,086 -
HDPE (Yarn)	1,050/1,100	- 1,041/1,091 -	1,042/1,092	- 1,040/1,086 -
PP (Homo) - BOPP	1,074/1,092	+ 1,071/1,088 +	1,082/1,100	- 1,083/1,100 -
PP (Homo) - Yarn/INJ	1,064/1,082	+ 1,061/1,078 +	1,062/1,080	- 1,063/1,080 -
PP (Block Co) - INJ	1,094/1,112	+ 1,091/1,108 +	1,102/1,120	- 1,103/1,120 -
<b>China Domestic*</b>				
LDPE (Film)	8,950/9,150	- 8,972/9,206 -		
LLDPE (Film)	9,100/9,200	- 9,078/9,211 -		
HDPE (Film)	9,600/9,700	- 9,578/9,733 -		
HDPE (Yarn)	9,650/9,850	- 9,700/9,883 -		
PP (Homo) - Yarn/INJ	9,200/9,250	- 9,172/9,222 -		
<b>CFR China</b>				
PVC	890/900	+ 884/894 +		
Ethylene Dichloride	410/420	+ 403/413 +		
Vinylchloride Monomer	706/716	+ 705/715 +		

◎Spread/Olefins (\$/MT)**				
	Ethylene	Propylene	Butadiene	Naphtha
Ethylene	—	210 +	-10 +	614 +
Propylene	-210 -	—	-220 +	404 -
Butadiene	10 -	220 -	—	624 -
Naphtha	-614 -	-404 +	-624 +	—

Calculated from the price difference between each product and CFR Japan Naphtha.

◎Spread/Polyolefins & Intermediate VS Feedstocks (\$/MT)**							
LDPE (Film)	-123 -	PP/Homo (BOPP)	180	SM	240 -	EDC	89 -
LLDPE (Film)	-39 -	PP/Homo (Yarn/INJ)	170	Phenol	96 -	VCM	58
HDPE (Film)	-95 -	PP/Block Co (INJ)	154	PTA	57 -	PVC	158
				MEG	-48 -		

Calculated from the price difference between each product and its feedstock.

\*\*These are reference prices and not price assessments.

## ◎オレフィン

### ○エチレン

アジアのエチレン相場は北東アジア着が1,100~1,150ドル、東南アジア着が1,000~1,050ドル、韓国積みが1,080~1,120ドルと前日から75ドル高と大幅に続伸した。需給のひっ迫感を受けた。

北東アジア向けの取引では、依然として需給の引き締め感が強い。供給面では、域内設備の稼働不調や、3月以降の定修シーズン入りにより売り物は少ない。一方で、需要面では需要家は依然、買い気をみせている。こうしたなか、北東アジア向けでは1,100ドルで成約された。その後の売りアイデアは1,150ドルと聞かれる。市場関係者は商談

可能な水準は1,100~1,150ドルのレンジと指摘する。一方、エチレン相場の上昇を受けて、誘導品のポリエチレンを減産しエチレンを販売しようとする石化メーカーも出てくるのではないかとの声も出始めている。また、域外品のアジア向け販売が活発化する可能性もあり、上値が重くなる展開も予想されている。設備面では台湾のフォルモサ石油化学 (FPGC) の第2ナフサクラッカーの稼働が低下しているのは昨報のとおり。これについて、市場関係者から現在の稼働率は90%程度との情報が寄せられた。

韓国積みの商談では、石化メーカー1社が2月末以降に積み込むカーゴを対象にトレーダーと交渉していたもよう。ただ、その後はこの石化メーカーが交渉から退いたことから、成約には至らな

ったようだ。市場関係者は、エチレン市況を確認するため交渉したのであり、売り気は強くなかったのではないかと指摘している。

## ○プロピレン

アジアのプロピレン相場は、北東アジア着が910～920ドル、東南アジア着が830～840ドル、韓国積みが880～900ドルといずれも前日からもち合った。

北東アジア市場では、売りアイデアが920～930ドルで聞かれるが、応じる買い手が見られない。買い手は旧正月前の買いを終えており、様子見に後退している。台湾では、台湾中油の残油流動接触分解装置(RFCC)がすでに稼働再開し、プロピレンのオンスペックも確認されており、2月から契約者への供給が回復すると聞かれる。このため、台湾需要家から輸入品に対する買い気も後退しているもよう。一方、東南アジア品の売り物に潤沢感があるなか、相場の基調が弱いまま。

韓国積みでは、メーカーに売り物がないものの、トレーダーに販売余力があるもよう。ただし、現時点でファームな商談が聞かれない。

東南アジア市場では、タイ PTTGC が30日に締め切った販売入札はすでに落札されたようだが、詳細は不明。トレーダー1社は、東南アジア着市場に対し一桁のプレミアムで応札したが、落札できなかったと伝えている。一方、昨報のインドネシア品はプルタミナが出した販売入札だとトレーダー筋が述べている。対象は昨報のとおり。応札の締め切りは31日と聞かれるが、現時点で結果は明らかとなっていない。

## ○ブタジエン

アジアのブタジエン相場は、北東アジア着が1,120～1,150ドル、東南アジア着が1,070～1,100ドル、韓国積みが1,070～1,100ドルといずれも前日比5ドル安。北東アジア市場は需要後退を受けた。東南アジア着および韓国積みは北東アジア着につれ安となった。

北東アジア市場では、旧正月に近づいており、中国需要家の買い気が後退している。一方で域外品の供給に潤沢感があるなか、相場の基調が弱い。こうした状況下、韓国向けに3月着が1,120ドルで成約されたとの情報がある。これについて、売り手と見られるトレーダー1社はすでに成約された

カーゴに数量を上乗せしたものであるため、割安で交わされたと述べている。また、新規カーゴの場合、1,150ドル以下では販売できないと伝えている。

韓国積みおよび東南アジア着は売り買いの唱えが薄く、北東アジア着に連動した。

東南アジア積みでは、タイ PTTGC が30日に締め切った販売入札はすでに落札されたと聞かれるが、詳細は不明。市場関係者によると、トレーダー1社が北東アジア着市況に対し130ドルのディスカウントで応札したが、落札されなかったという。

## ◎入札情報

Olefin Tenders					
Company	Buy/Sell	Quantity	Timing	Close	Price
	Cargo	Basis	Result	Validity	
Rabigh	Sell	9,000	Feb 15-16	4-Feb	

	Propylene	FOB			
PTTGC	Sell	2,000	Mar 4-6	30-Jan	
	C4Raff-1	FOB		30-Jan	
PTTGC	Sell	1,700	Feb 26-Mar 2	30-Jan	
	Butadiene	FOB	Awarded	30-Jan	
PTTGC	Sell	2,350	Mar 5-7	30-Jan	
	Propylene	FOB	Awarded	30-Jan	
PTTGC	Sell	3,500 or 5,000	Feb 23-25	25-Jan	CFR SEA
	Ethylene	FOB	Awarded	25-Jan	Linked Price
PTTGC	Sell	2,350	Feb 2H	24-Jan	CFR SEA
	Propylene	FOB	Awarded	24-Jan	Linked Price
PTTGC	Sell	1,700	Feb 20-24	24-Jan	CFR
	Butadiene	FOB	Awarded	24-Jan	NEA-80s
Quantity mt, Source: Rim survey					

### ◎ポリオレフィン

中国向けのポリオレフィン相場はいずれも前日並みにもち合った。原料であるエチレン相場が上昇しているため、買い気をみせる需要家もいるようだ。ただし、旧正月を前に中国国内で新たに配送が手配できない状況のなか、こうした買い気はごく一部に限られるもよう。直鎖状低密度ポリエチレン（LLDPE） Filmではインド品が1,040～1,050ドルで売り唱えられたが、成約可能水準は1,030ドル程度で推移している。

東南アジア向けのポリエチレン相場はLLDPE Filmが1,020～1,040ドルで前日から5ドル高、高密度ポリエチレン（HDPE） Filmが1,050～1,100

ドルで同20ドル高、HDPE Yarnが1,050～1,100ドルで同20ドル高となった。中国相場に対する価格差が解消した。LLDPE Filmでは中東品のオファー水準が1,040～1,050ドルで聞かれるが、成約可能価格としては1,040ドルが上限と聞かれる。HDPE Filmでは中東品の成約水準が1,050ドル程度と聞かれる。東南アジア域内品では1,100ドル程度で成約する可能性もあるようだ。

米国積み品について、トレーダー筋からは3月品の交渉が2月初めごろから開始されそうだと伝えられる。2月品交渉では、内需の堅調さからアジア向けの販売数量は限られていたもよう。

### ◎PVCおよびPVC原料

塩ビ樹脂（PVC）の中国着相場は890～900ドルと前日からもち合った。2月積み品の商談が一巡しているうえ、3月積み品の商談を開始するには時期尚早のため、需要家の買い気は薄い。米国では、2月積み品の成約が前月比20ドル高の800ドル程度で出ている。米国品が値上がりしたため、アジア

のメーカーが3月積み品を値上げする余地はあるとの見方が聞かれる。一方、2月積み品の商談でも需要家側は値上げに抵抗感を示していたため、いっそうの値上げが受け入れられるかは不透明との指摘もある。

### ◎マーケットニュース

#### ○経産省＝12月の主要化学製品需給実績、化学工業統計速報

詳細は下記からご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/select/category/data/article/643646>

### ○中国＝山東地域の独立系製油所28社の平均稼働率は58.0%と変わらず

リム調べによると、30日時点で山東地域28カ所の独立系製油所の平均稼働率は58.0%と先週から横ばい。原料の処理量は日量28万8,600トン。常・減圧蒸留装置の平均稼働率は60.4%で、原料の処理量は日量18万3,100トン。春節の休暇に差し掛かり、製油所の稼働は安定している。

### ○アジア製油所トッパー稼働状況 〈台湾〉

リム調べによると、台湾石油2社の合計の原油処理量は31日時点で日量98万バレルと先週から3.2%増加した。台湾フォルモサ石油化学 (FPCC) の原油処理量は日量50万バレルを維持。2月の原油処理量は日量平均52万バレルに予定している。一方、台湾中油 (CPC) は原油処理量を日量48万バレルへ引き上げた。同社の大林製油所 (日量35万バレル) で先週末、トラブルにより停止していた残油流動接触分解装置 (日量8万バレル) が稼働を再開した。全社の常圧蒸留装置の実働能力は日量109万バレル。製油所の平均稼働率は実働能力に対し89.9%となった。

◇

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

#### 事業所一覧

[東京本社]

Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415

e-mail:[info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

[シンガポール支局]

Tel:(65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,

e-mail:[hagimoto@rim-intelligence.co.jp](mailto:hagimoto@rim-intelligence.co.jp)

[北京支社]

Tel:(86)10-6498-0455, Fax:(86)10-6428-1725

e-mail:[guanhong@rimbj.com](mailto:guanhong@rimbj.com)

[インド支局]

Tel:(91)-98795-50717, e-mail:[kamlesh@rim-intelligence.co.jp](mailto:kamlesh@rim-intelligence.co.jp)

[上海支社]

Tel:(86)-21-5111-3575, e-mail:[rim\\_sh@rim-intelligence.co.jp](mailto:rim_sh@rim-intelligence.co.jp)

(C) 2019 RIM INTELLIGENCE CO.